

3月24日(日)～28日(木)まで2年生の生徒7名がベトナム・ハノイに海外研修に出かけました。初日はベトナム建国の父ホーチミンが眠るホーチミン廟等を見学しました。翌日は十六銀行ハノイ駐在員事務所でベトナムの歴史、経済活動、ベトナムの方々の国民性、岐阜県の企業の海外進出などを詳しく説明いただきました。また、いい大学に入学するために幼い頃から受験勉強が始まるという、ベトナムの教育事情について十六銀行の現地スタッフの方から大変分かりやすく説明を受けました。その後、地元中央物産の現地法人の方から説明をいただいた後、工場見学をさせていただきました。消費者ニーズを的確に判断し、ニーズにこたえる技術力の向上が企業発展のカギであるということを強調してみえました。その後、関市にある貝印刃物の現地法人を訪問しました。日本に比べて豊富な人材を活かした生産体制と、しっかり教育された従業員の方々の作業を見学させていただき、私たちが普段使用している刃物製品がどのように作られているのかということが大変よく分かりました。3日目は、世界遺産ハロン湾の見学をしました。さすが「海の桂林」といわれるだけあって日本ではお目に掛かれない壮大な景色に感嘆しました。4日目も世界遺産のチャンアンでクルーズをしました。こちらは「陸の桂林」といわれ、手漕ぎボートからの壮大な眺めに驚嘆しました。

この研修が初めての海外という生徒がほとんどで、積極的に質問を行い、現地法人の方からもとても良い評価を受けました。今後は海外に目を向けられるような充実した生活を送ってくれたらと願っています。

今年度についてもこの事業を継続し、2年生の生徒に募集をかけたいと思います。

